作成日2011年02月04日

製品安全データシート
(MSDS)

1．製品及び会社情報

製品名	コスミック　Sトナー　グレー
会社名	株式会社ダイフレックス
住所	東京都新宿区西新宿２－４－１　新宿NSビル25F
担当部門	コスミック事業部
問合せ担当部門	
電話番号	０３－５３８１－０８８１
FAX番号	０３－５３８１－０８５１
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	
緊急連絡先	コスミック事業部　０３－５３２１－９７６１

2．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	可燃性／引火性ガス	分類対象外
	支燃性／酸化性ガス類	分類対象外
	引火性液体	区分外
人健康有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉塵／ミスト）	区分外
	皮膚腐食性／刺激性	区分３
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分２Ｂ
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分２
	生殖毒性	区分１Ｂ
	授乳影響	分類できない
	特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	分類できない
	特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	区分２(肝臓、精巣)
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境有害性	水生環境急性有害性	区分３
	水生環境慢性有害性	区分３

ＧＨＳ要素

絵表示

注意喚起語　危険

危険有害性情報

軽度の皮膚刺激
眼刺激
発がんのおそれの疑い
生殖または胎児への悪影響のおそれ
長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ(肝臓, 精巣)
水生生物に有害
長期的影響により水生生物に有害

注意書き
安全対策
・使用前に取扱説明書を入手すること。
・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
・(必要な時以外は、)環境への放出を避けること。
・必要に応じて個人用保護具を使用すること
応急処置
・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
・取り扱った後、手を洗うこと。
・皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
・気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。
保管
・施錠して保管すること。
廃棄
・内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：　混合物
一般名：
成分及び含有率：

化学名	労働安全衛生法第57条の2対象名 化学物質排出把握管理促進法対象名	含有率(%)	官報公示No.(化審法・安衛法)	CAS No.	物質としての適用法令
ﾌﾀﾙ酸ﾋﾞｽ(2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ)	ﾌﾀﾙ酸ﾋﾞｽ(2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ) 別名DEHP ﾌﾀﾙ酸ﾋﾞｽ(2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ)(1-355)	45～55	(3)-1307	117-81-7	1,4,6
C.I. Pigment Red 101	酸化鉄 —	<1	(1)-357 or (5)-5188	1309-37-1	1
ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ	ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ —	1～5	(5)-3328 or (5)-5222	1333-86-4	1
C.I. Pigment White 6	酸化ﾁﾀﾝ(IV) —	35～45	(1)-558 or (5)-5225	13463-67-7	1
C.I. Pigment Yellow 42	酸化鉄 —	<1	(1)-357	51274-00-1	1
C.I. Pigment White 27	ｼﾘｶ —	<1	(1)-548	7631-86-9	1

ＰＲＴＲ法(化学物質排出把握管理促進法)対象物質の含有量は、１５．適用法令に記載する。

適用法令：
1: 労働安全衛生法（第５７条の２）
4: 化学物質排出把握管理促進法
6: 消防法

成分：顔料、可塑剤、他

※成分及び含有率は、通知対象物質のみ記載

４．応急措置

吸入した場合　：気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合　：水と石鹸で洗うこと。
目に入った場合　：直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当てを受ける。
飲み込んだ場合　：口をすすぎ、直ちに医師に連絡し診断を受ける。

５．火災時の措置
消火剤：
・粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂、霧状の強化液
特定の消火方法：
・指定の消火剤を用いて消火する。
・燃焼または熱分解により有毒ガスが生成することがあるので、呼吸保護具、化学品に対する保護服を着用する。

６．漏出時の措置
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：
・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。
環境に対する注意事項：
・製品や洗浄水を乾燥砂、土、ウエス、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。
・環境中に放出してはならない。
回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・機材：
・密閉可能な空容器にできるだけ回収する。

７．取扱い及び保管上の注意
取扱い：
安全取扱い注意事項
・吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用する。
・取扱い後は手洗いとうがいを十分に行う。
保管：
技術的対策、混触禁止物質、容器包装材料
・ボイラー等の熱源付近や可燃性物の付近には置かない。
・高温、火気、多湿、水ぬれ、直射日光を避けて、室内倉庫に保管する。

８．暴露防止及び保護措置
管理濃度及び許容濃度：

化学物質の名称	管理濃度	ACGIH(TWA)	日本産業衛生学会(TWA)
ﾌﾀﾙ酸ﾋﾞｽ(2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ)	—	TWA:5mg/m3 STEL:-	5mg/m3
C.I. Pigment Red 101	—	TWA:5mg/m3 STEL:-	4mg/m3(第2種粉塵)
ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ	—	TWA:3.5mg/m3 STEL:-	4mg/m3(第2種粉塵)
C.I. Pigment White 6	—	TWA:10mg/m3 STEL:-	4mg/m3(第2種粉塵)
C.I. Pigment White 27	—	—	2mg/m3(第1種粉塵)

＊が付記されている場合は最大許容濃度を表す。

保護具　：適切な呼吸器保護具を着用すること。
必要に応じて個人用保護手袋を使用すること。
適切な保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型等）を使用すること。
必要に応じて個人用保護衣、保護面を使用すること。

９．物理的及び化学的性質

製品の物理的及び化学的性質

物理的状態

形状	：液体
色	：灰色
臭い	：情報なし
ｐＨ	：情報なし
比重	：情報なし

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲

融点・凝固点(℃)	：情報なし
沸点(℃)	：情報なし
引火点(℃)	：情報なし

溶解性

溶媒に対する溶解性	
水	：情報なし
有機溶剤	：情報なし
分解温度(℃)	：情報なし

成分の物理的及び化学的性質：

成分の名称	沸点(℃)	比重(水=1)	水への溶解性	蒸気圧(kPa)	相対蒸気密度(空気=1)	引火点(℃)	発火温度(℃)	爆発限界vol%(空気中)	ｵｸﾀﾉｰﾙ/水分配係数(LogPo/w)	出典
ﾌﾀﾙ酸ｼﾞｽ(2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ)	385	0.986	不溶	情報なし	情報なし	206	情報なし	情報なし	7.60	6,19
C.I. Pigment Red 101	情報なし	5.2±0.2	不溶	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ	情報なし	2.0±0.2	不溶	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
C.I. Pigment White 6	2500-3000	4.1±0.2	不溶	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
C.I. Pigment White 27	2230	2.2±0.2	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし

出典：
6: 安全衛生情報センター　ＧＨＳ対応モデルＭＳＤＳ
19: EU-RAR

10. 安全性及び反応性

安定性・危険有害反応可能性：
- 常温以下では安定。

避けるべき条件：
- 高温過熱を避ける。

11. 有害性情報

製品としての有害性情報：製品としての情報なし

成分の有害性情報（ＧＨＳ分類結果）－１：

成　分	急性毒性 経口 mg/kg	急性毒性 経皮 mg/kg	急性毒性 吸入：気体 ppmV	急性毒性 吸入：蒸気 mg/l	急性毒性 吸入:粉塵/ﾐｽﾄ mg/l	皮膚腐食性 ・刺激性	目に対する 重篤な損傷 ・眼刺激性
ﾌﾀﾙ酸ﾋﾞｽ(2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ)	区分外 (>20000mg/kg)	区分外 (24500mg/kg)	分類対象外	分類できない	区分外 (>10.62mg/kg)	区分３	区分２Ｂ
C.I. Pigment Red 101	分類できない	分類できない	分類対象外	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ	区分外 (15400mg/kg)	分類できない	分類対象外	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
C.I. Pigment White 6	区分外 (>10000mg/kg)	区分外 (>10000mg/kg)	分類対象外	分類できない	区分外	区分外	分類対象外
C.I. Pigment Yellow 42	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
C.I. Pigment White 27	区分５ (>4500mg/kg)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

成分の有害性情報（ＧＨＳ分類結果）－２：

成　分	呼吸器感作性・皮膚感作性	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	吸引性呼吸器有害性
ﾌﾀﾙ酸ﾋﾞｽ(2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ)	呼吸器感作性:分類できない 皮膚感作性:区分外	区分外	区分２	区分１Ｂ	分類できない	区分２(肝臓、精巣)	分類できない
C.I. Pigment Red 101	呼吸器感作性:分類できない 皮膚感作性:分類できない	分類できない	区分外	分類できない	区分外	区分外	分類できない
ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ	呼吸器感作性:分類できない 皮膚感作性:分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分外	区分外	分類できない
C.I. Pigment White 6	呼吸器感作性:分類できない 皮膚感作性:区分外	区分外	区分外	分類できない	区分外	区分外	分類できない
C.I. Pigment Yellow 42	呼吸器感作性:分類できない 皮膚感作性:分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
C.I. Pigment White 27	呼吸器感作性:分類できない 皮膚感作性:分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

カーボンブラックの区分について
製品形状が粉体以外となるため、発がん性を「分類できない」とし、特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）を「区分外」と判定しています。

酸化チタンの区分について
製品形状が粉体以外となるため、眼に対する重篤な損傷・眼刺激性を「分類対象外」とし、特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）を「区分外」と判定しています。

酸化鉄の区分について
製品形状が粉体以外となるため、皮膚腐食性・刺激性、眼に対する重篤な損傷・眼刺激性については共に「分類できない」とし、特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）については「区分外」と判定しています。

12. 環境影響情報

製品としての有害性情報：製品としての情報なし

成分の環境有害性情報：

成分	水生環境急性有害性	水生環境慢性有害性
ﾌﾀﾙ酸ﾋﾞｽ(2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ)	区分外	区分４
C.I. Pigment Red 101	分類できない	分類できない
ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ	分類できない	分類できない
C.I. Pigment White 6	区分外	区分外
C.I. Pigment Yellow 42	分類できない	分類できない
C.I. Pigment White 27	分類できない	分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

・許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

汚染容器及び包装：

・空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
・許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

注意事項：

・容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込む。
・荷くずれの防止を確実に行う。

国連分類　：非該当
国連番号　：非該当
国連輸送名　：非該当
指針番号　：非該当

15. 適用法令

・労働安全衛生法（第５７条の２）（通知対象）
・化学物質排出把握管理促進法(第一種指定)
・消防法(危険物, 第４類, 第４石油類, 危険等級Ⅲ, 引火性液体)

労働安全衛生法第５７条の２

対象名	含有率(%)
酸化鉄	1～5
酸化ﾁﾀﾝ(IV)	35～45
ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ	1～5
ｼﾘｶ	＜1
ﾌﾀﾙ酸ﾋﾞｽ(2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ) 別名 DEHP	45～55

化学物質排出把握管理促進法

対象名	政令番号	化管法区分	含有率(%)
ﾌﾀﾙ酸ﾋﾞｽ(2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ)	355	第一種指定	50

16. その他の情報

参考資料

・独立行政法人 製品評価技術基盤機構 ＧＨＳ分類結果データベース
・原材料のＭＳＤＳ

[お願い]

・「本製品安全データシート」は、当社製品を安全に使用して頂くために、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたものです。
・記載内容のうち、含有量、構成比率、物理化学的性質などの値は保証値ではありません。
・ここに記載された内容は、当社保有の情報によるものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。また内容は新しい知見に基づき改訂されることがあります。
・注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものです。本製品の取り扱いの適性に関する決定は、使用者の責任において行って下さい。